



姉妹でファイターズガールに加入

齋藤 りこさん(姉・左)
りのさん(妹・右)

さいとう・りこ、りの
北広島市出身。
幼少期から市内のダンススタジオに通う。ファイターズガールの新メンバーオーディションで、姉妹そろってメンバーに選出された。

ファイターズガールに姉妹で加入

北海道日本ハムファイターズの試合をダンスで盛り上げる「ファイターズガール」に、今シーズン、市内出身の姉妹が加入した。今回の募集には270人を超える応募があり、最終的に14人が合格。齋藤さん姉妹は初挑戦でメンバー入りを果たした。

応募はファイターズファンの母からの勧め。ダンス歴は姉妹とも15年ほどある。書類選考を経て行われた最終選考で、りこさんはK-POPに合わせたオリジナルダンスを披露。「うまく踊れたので、ちょっと自信がありました」という。一方、りのさんはパンキングを前面に出したダンスを踊った。「最初は緊張したけれど踊りだすと楽しくなって、やりきったな、と思いました」

合否は最終選考の場で発表された。2人とも合格したと連絡を受けた母親は、泣いていたそう。

姉妹一緒だと心強い

姉妹で一緒に活動するメリットは、ダンスの練習やツアーガイドでの経験などを共有できること。お互い相談できるのは心強いと口を揃えた。

姉妹でも性格は違う。「妹は、はっきりと言う方。自分の中で軸になる考えを持っているのだと思います(り

*パンキング…腕をむちのようにしならせてリズムを取る踊り方。ダンステクニックのひとつ

チームの勝利をダンスで支えたい

試合中のパフォーマンス



齋藤りこさん

齋藤りのさん

これから活動が楽しみ
試合日以外の活動にも意欲をみせる。「スタジアムツアーのガイドでは参加した方の反応が良いとやりがいを感じます。今後はもっと知識をつけて魅力を伝えていきたいです(りこさん)」「出身地なので、市のイベントなどにも積極的に参加して、地域に貢献したいです(りのさん)」
3月から試合中のパフォーマンスに登場している。ファイターズファンは一体感があるところが魅力という2人。ダンスと一緒に盛り上がり勝利の後押しをしたい、と力強く話してくれた。ファイターズガールの活動を通して、私たちに笑顔と元気を届けてくれることを期待する。